

純ジャパ1,000人に聞く、「インバウンド2000万人時代のおもてなし英会話力調査」

今後3～4年の間に純ジャパの7割が
自分の英会話力を高めたい！

純ジャパとは
留学や長期の海外
生活の経験がなく、
日本の学校の授業で
英語を学んだ人のこと

外国人に道を聞かれて「英語で答えられる」純ジャパは2割
一方で、日本に来る外国人とコミュニケーションをしたい純ジャパは7割
そのために必要なものは、何はなくても「英会話力」、そして「勇気」

訪日外国人観光客が年間2,000万人を突破し、国際大会の開催も控え、その勢いはさらに加速することが見込まれています。

留学や海外生活の経験がなく、日本の学校で英語を学んだ人のことを「純ジャパ」と呼びます。株式会社講談社(代表取締役社長・野間省伸)では、この純ジャパの20代～60代男女1,000人を対象に、外国人とのコミュニケーションに欠かせない英会話力についてのアンケート調査を行いました。その結果、純ジャパの7割が外国人とのコミュニケーションをとりたいと思っており、中学生レベルの英語力で外国人とコミュニケーションがとれるのであれば、もう一度学びたいと望んでいることがわかりました。

調査結果に加えて、純ジャパの英会話力を高めることに積極的に取り組んでいっしょに、テレビでもおなじみの英語講師・安河内哲也先生のコメントも、併せてご紹介します。

【調査結果サマリー】

純ジャパの7割は外国人とのコミュニケーションを望んでいる。なのに実態は…

- ◆ 純ジャパの7割(68.3%)は外国人とコミュニケーションをとりたいと思っているが、満足にコミュニケーションできたのは3割弱(27.4%)にとどまる。
- ◆ 外国人とコミュニケーションをとるために必要なものは、何はなくても「英会話力」(76.2%)、そして「勇気」(50.1%)。
- ◆ 外国人に道を聞かれて「英語で答えられる」(21.8%)と胸を張るのは2割。
- ◆ 実際に、道を聞かれたときの対応は「身振り手振りを交えた」(49.8%) ジェスチャー英語が一般的で、「相手に通じる英語」(27.3%)で答えられた人は3割以下。

純ジャパの英会話力、半数はほとんど話せない小学生レベル

- ◆ 自分の英会話力、半数近くが「ほとんど話せない」(43.5%)し、話す力は「小学生レベル」(49.9%)。
- ◆ 「話すことも聞くことも問題なくできる」英会話力のある純ジャパはたった2.5%。話す力が「仕事ができるレベル」なものも2.2%。
- ◆ 中学時代の英語の授業、62.7%が「楽しくなかった」。その理由は「授業がつまらない」し「文法ばかり」だったから。

3～4年の間に自分の英会話力を高めたい純ジャパたち 高まる英会話チャレンジ意欲

- ◆ 中学生レベルの英語力で外国人とコミュニケーションができるとしたら、7割が「学んでみたい」(68.0%)と意欲的。
- ◆ 純ジャパの7割が今後3～4年の間で「自分の英会話力を高めたい」(68.5%)と積極的。
- ◆ 自分の英会話力が高まったら、外国人との「日常会話」(75.2%)や「一緒に食事」(24.6%)を楽しみたい。
- ◆ 英語で紹介したい日本の食べ物は「天ぷら」(38.7%)「江戸前寿司」(33.2%)「お好み焼き」(31.9%)。
- ◆ 英語で紹介したいジャパンカルチャーは「回転寿司」(47.6%)「100円ショップ」(36.8%)「東京スカイツリー」(28.9%)。
- ◆ 英会話力を高める方法は、英会話学校やインターネットではなく、「日常生活の中でわかりやすい教材を使う」(65.5%)こと。

調査概要

- 調査対象：1ヵ月以上の留学や海外生活がない全国の20代～60代男女 10歳刻みで男女各50人ずつ1,000人
- 調査手法：インターネット調査
- 調査日程：2016年10月28日(金)～10月30日(日)

純ジャパの外国人とのコミュニケーション実態

2016（平成28）年は訪日外国人観光客が初めて2,000万人を突破し、「2020年までに訪日客4,000万人」という国が掲げる目標に向けて、一段と弾みがつきました。訪日外国人観光客は、今後もさらなる拡大が見込まれており、わたしたちは日本に居ながらにして、外国人との接点が一層増えていくことが予想されます。

日本にやってくる外国人に対して、わたしたちはどのようなおもてなしができるのでしょうか。全国の純ジャパ男女1,000人を対象に、訪日外国人へのおもてなし意識と英会話力に関するアンケート調査を行いました。

外国人とコミュニケーションをとりたいのに、うまくとれない純ジャパ。

外国人とのコミュニケーションに最も必要なのは、何はなくとも「英会話力」、そして「勇気」。

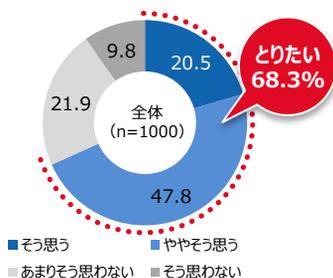
年間2,000万人と多くの外国人が訪れるようになった日本。外国人と上手にコミュニケーションをとりたいかと聞くと、68.3%が「コミュニケーションをとりたい」（そう思う20.5% + ややそう思う47.8%）と答えています [図1]。

では、日本国内で外国人と英語でコミュニケーションをとった経験を聞くと、「経験がある」（34.3%）のは3人に1人程度で、7割近くは「経験がない」（65.7%）と答えています [図2-1]。経験があると答えた343人に、満足にコミュニケーションがとれたかと聞くと、満足にコミュニケーションがとれたのは3割以下（満足2.6% + やや満足24.8% = 27.4%）で、7割以上（72.6%）は外国人とのコミュニケーションが満足にとれていません [図2-2]。

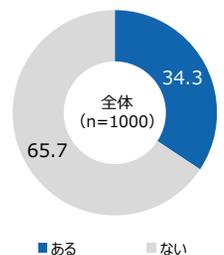
外国人とコミュニケーションをとりたいと思っているのに、実際はとれていないのが今の純ジャパの現状です。

外国人とうまくコミュニケーションをとるために必要なものを聞くと、外国人と物おじせずに話す「勇気」（50.1%）や外国人に対する「思いやり」（35.8%）以上に、最も重要なのは「英会話力」（76.2%）という結果となりました [図3]。

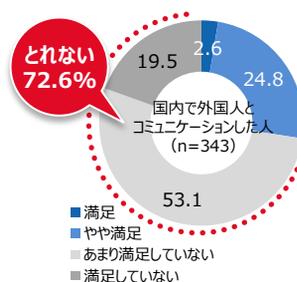
[図1]外国人と上手にコミュニケーションをとりたいか



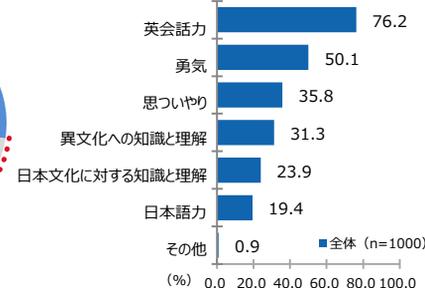
[図2-1]日本国内で外国人とコミュニケーションをとった経験



[図2-2]外国人と満足にコミュニケーションがとれたか



[図3]外国人とコミュニケーションするのに必要なもの



★安河内先生の純ジャパENGLISHのススメ①

英会話ができないのは、マインドセットの問題。英語は覚えて使って、使いながらうまくなればいい。

日本人はなぜ英会話ができないのでしょうか。いろいろな考えがあるとは思いますが、私はマインドセットの問題だと思います。ネイティブっぽい発音じゃないと恥ずかしいとか、そんな言い方をすると外国人に笑われるとか、勝手に思い込んでるのではないのでしょうか。私は30年ぐらい英語に携わっていますが、ネイティブではありません。でも、海外と仕事もできるし、外国人とも仲良くなれて、なんの問題もありません。キレイに喋れるようになってから英語で喋ろうなんて思っていたら、いくつになるかわからない。覚えたら使う、使いながらうまくなる、それがいちばんです。例えばアメリカ大リーグで活躍する川崎宗則選手は、インタビューのときに純ジャパ英語でジョークを飛ばし、アメリカ人にも大いにウケています。英会話ができないのは文法や発音の問題ではなく、気持ちの問題です。英語に対するマインドセットを変えれば、日本人は誰でも英語が喋れるようになると思います。



安河内 哲也 (やすこうち・てつや) 先生

1967（昭和42）年、福岡県生まれ。上智大学外国語学部英語学科卒。英語講師（東進ハイスクール・東進ビジネススクール）、通訳案内士。一般財団法人実用英語推進機構(PEPS)代表理事、一般財団法人日本普及機構理事、文部科学省 英語教育の在り方に関する有識者会議委員。長期海外経験のない普通の日本人でも楽しく外国語が習得できる、「音読による自動化訓練」により、使える英語を習得した。東進グループの映像ネットワークやTV、書籍や雑誌、新聞の連載などを通じ 実用英語教育、音読教育の普及活動中。そのために予備校、企業、高等学校などで年150回以上の講演を実施している。

純ジャパが外国人から道を聞かれたら…？

日本に来ている外国人に道を聞かれたら？ 英語で答えられるのはわずか2割。

実際には英語+ジェスチャーで教えることが多いが、「わからない」と教えなかったり無言で逃げる人も…

外国人とのコミュニケーションを望みつつも、満足にできていない今の純ジャパ。日本に来ている外国人から道を聞かれて英語で答えることができるかと聞くと、「できる」と答えたのは2割（21.8%）にとどまり、8割は「できない」（78.2%）と答えています [図4]。

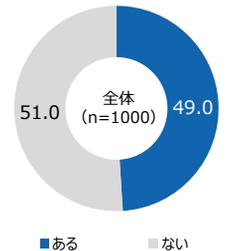
実際、道を聞かれた経験が「ある」（49.0%）のは約半数ですが [図5]、そのときの対応を聞くと、「自分ひとりで日本語と英語を混ぜながら身振り手振りで教えた」（49.8%）というジェスチャー派が最も多く、「自分ひとりで英語で教えたことがあり、相手にわかってもらえた」（27.3%）と相手に英語が通じたのは3割以下です。なかには「わからないと言って教えなかった」（6.7%）や「無言でやりすごした」（0.6%）ケースもあります [図6]。これからも外国人観光客が増える日本において、困っている外国人を助けてあげるためにも、最低限の“英語でのコミュニケーション=英会話力”が必要となってくるようです。

ちなみに [図7] は、[図4] の道案内を英語で答えられると答えた人と、[図6] の実際に相手に通じる英語で道案内ができたと答えた人の都道府県別のTOP3です。英語で答えられる人が多いのは、「福岡県」（34.3%）、「神奈川県」（33.3%）、「大阪府」（32.1%）の順で、相手に通じる英語で教えた人が多いのは、「大阪府」（36.7%）、「神奈川県」「東京都」（同率30.6%）の順です。

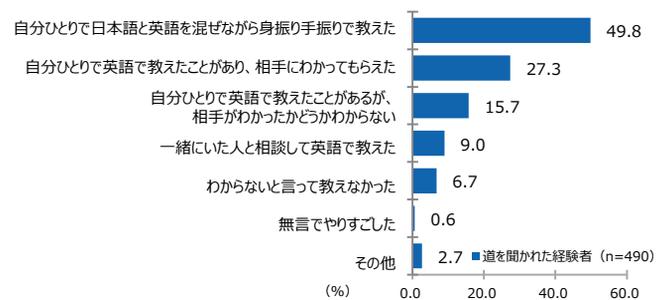
[図4]日本に来ている外国人から道を聞かれたら英語で答えられるか



[図5]日本に来ている外国人から道を聞かれた経験があるか



[図6]日本に来ている外国人から道を聞かれたときの対応



[図7]外国人から道を聞かれたときの対応都道府県別TOP3

英語で答えられる [図4]		相手に通じる英語で教えた [図6]	
福岡県 (n=35)	34.3%	大阪府 (n=49)	36.7%
神奈川県 (n=90)	33.3%	神奈川県 (n=49)	30.6%
大阪府 (n=84)	32.1%	東京都 (n=72)	30.6%

※47都道府県から回答者数30以上のみを対象

★安河内先生の純ジャパENGLISHのススメ②

日本に来た外国人に、日本はいい国だと思ってもらえることがいちばんのおもてなし。

当たり前のことを普通にできるようになるための手段が、純ジャパ英語の英会話力です。

私は日本に来た外国人が「日本はいい国だったな、来てよかったな」と思って帰ってもらうことが、いちばんのおもてなしだと思っています。そのためには、相手のニーズに応えるという普通のことをきちんとやってあげることが大事です。

道で困っている外国人がいたら道を教えてあげる、電車の路線がわからない外国人を見過ごさずに、乗り方を教えてあげることです。宿泊、観光、移動などで外国人が困っていたら助けるというごく当たり前のことを、みんなが当然のこのようにしてあげること、それがおもてなしだと思います。六本木で道に迷う外国人の方を多く見かけますが、声をかける日本人は少ないですね。そのせいで、日本人は冷たいと思われるのはとても残念なことです。

これからも日本に来る外国人はどんどん増えていくでしょう。彼らが困っていたら助けてあげる、わからないことは教えてあげる。そんな当たり前のことを当たり前ができるようになるために、少しだけ、英会話力が必要です。

純ジャパの英会話力

外国人とのコミュニケーションに不可欠な英会話力。

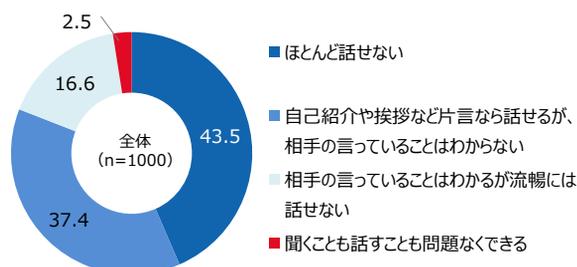
「ほとんど話せない」と自覚する人が最も多く、自分の英語を話す力は「小学生レベル」と最低評価。

外国人観光客の増加に伴い、日本に来る外国人とコミュニケーションをとりたいと望み、そのためには英会話力が不可欠と思う人が8割近くもいます。そこで、純ジャパの英会話力について聞いてみました。

現在の英会話のレベルを聞くと、「ほとんど話せない」（43.5%）が4割強と最も多く、次いで「自己紹介や挨拶など片言なら話せるが、相手の言っていることはわからない」（37.4%）、「相手の言っていることはわかるが流暢には話せない」（16.6%）となり、「聞くことも話すことも問題なくできる」と答えた人はわずか2.5%という結果になりました

【図8】。

【図8】現在の自分の英会話レベル

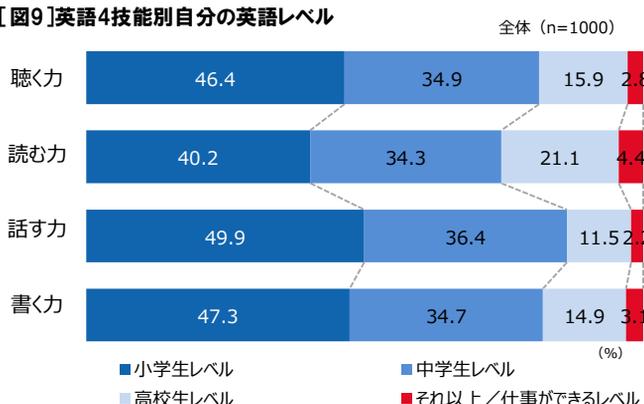


現在、日本の英語教育では「英語4技能」（Listening聴く力・Reading読む力・Speaking話す力・Writing書く力）が重視され、文部科学省でも、「英語4技能を積極的に使えるようになる英語力を持った人材を育てる」ことを重視しています。

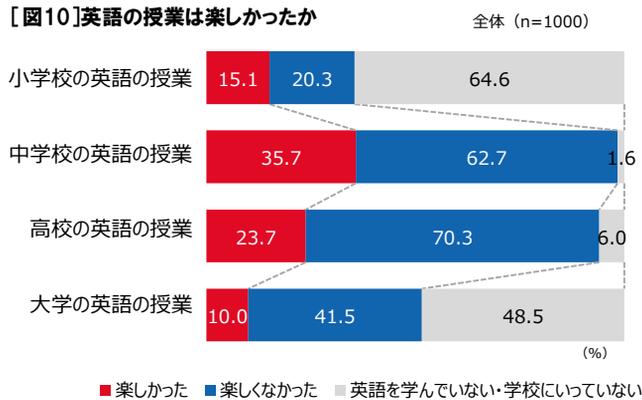
そこで、英語4技能別に自分の英語レベルを自己評価してもらうと、4技能とも「小学生レベル」が多く、次いで「中学生レベル」が3割台となり、高校生レベルなのは唯一「読む力」（21.1%）が2割台です。「仕事ができるレベル」と答えた人は4技能とも5%以下にとどまっています。「話す力」については、「小学生レベル」（49.9%）と答えた人が4技能の中で最も多くなっており、純ジャパの英会話力の低さが表れています【図9】。

また、学校での英語の授業が楽しかったかどうか聞くと、小中高大すべてにおいて、英語の授業は、「楽しなかった」が「楽しかった」を大きく上回っています【図10】。中学の英語の授業が楽しなかったと答えた627人を対象にその理由を聞くと、「授業内容がつまらなかった」（41.0%）や「文法ばかりだった」（37.5%）という意見が多くなっています【図11】。

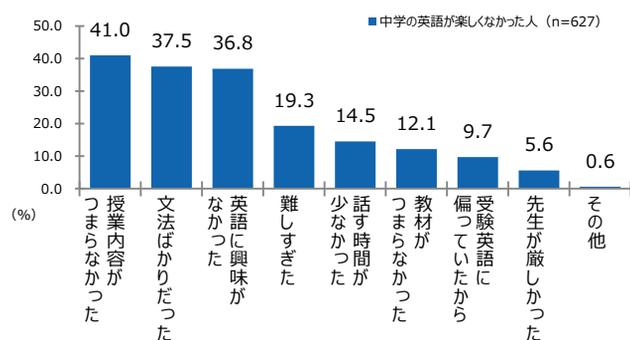
【図9】英語4技能別自分の英語レベル



【図10】英語の授業は楽しかったか



【図11】中学の英語の授業が楽しなかった理由



英会話力への習得意欲 純ジャパの英会話力が高まればレガシーに！

中学レベルの英語で外国人とコミュニケーションがとれるなら、もう一度学びたいし、自分の英会話力を高めたい！外国人観光客と楽しみたいのは、何げないおしゃべりや食事。

学校の授業で英語を学んだにもかかわらず、純ジャパの半数が英語をほとんど喋れず、話す力は小学生レベルと自覚しています。

英語の中でも英会話力不足を自覚する純ジャパですが、「中学生レベルの英語で外国人とコミュニケーションができる」と知ったら、中学生レベルの使える英語をもう一度学んでみたいかと聞くと、7割近くが「学んでみたい」（学んでみたい18.3% + 機会があれば学んでみたい49.7% = 68.0%）と、英語学習への意欲を見せています [図12]。

また、今後3~4年くらいの間の国際的な大会開催に向け、より一層の外国人観光客の来日が見込まれていますが、そのときまでに自分の英会話力を高めたいかと聞くと、こちらも7割近くが「高めたい」（高めたい23.0% + できれば高めたい45.5% = 68.5%）と積極的です [図13]。

英会話力が高まったら、外国人観光客とどんなコミュニケーションをしたいかと聞くと、「日常会話を楽しみたい」（75.2%）が圧倒的に多く、次いで「日本の食べ物と一緒に食べたい」（24.6%）、「日本の伝統文化の紹介」（15.3%）、「全国の観光地の案内」（11.9%）の順となりました [図14]。

英会話力を高める方法としては、「日常生活の中でわかりやすい教材を使って」（65.5%）が最も多く、次いで「インターネット」（23.9%）、「テレビ番組」（18.4%）、「英会話スクール」（14.1%）の順となっています [図15]。

英会話に対するコンプレックスの大きい純ジャパですが、今後3~4年くらいの間の国際的な大会に向けて、英会話力を高めたいと多くの人が望んでいます。そのためには、「中学生レベルの英語をベースにした日常生活の中で使えるようなわかりやすい教材」が求められているようです。

★安河内先生の純ジャパENGLISHのススメ③

中学英語で十分。ピコ太郎『PPAP』も簡単英語で世界とコミュニケーション。

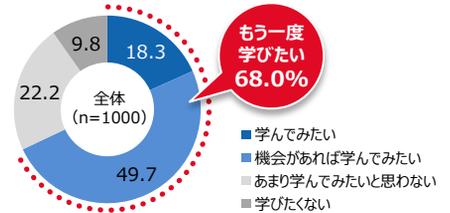
「中学で習う英語は、実際には使えない」とよく言われます。たとえば、This is a pen. は誰もが習う中学英語ですが、実は、これほど使える英語はないんです。

外国人から What's this? と聞かれたら、それを指差してThis is 焼き鳥、This is うめぼしと答えればOK。それだけで立派なおもてなしの英会話ができるんです。相手のことをほめたいとき、ほめるという単語がわからなければ、私はあなたの○○が好きと言えばいいのです。I like your hat（その帽子いいね）、I like your shoes（その靴いいね）と。誰もが知っている簡単な中学生英語で、外国人をほめることもできます。中学で習ったことはあるが、使わないままで眠っている英語、使い方がわからない英語。そんな英語を思い出して、使い方さえ覚えれば、日本に来た外国人にちゃんと伝わる英会話マスターでき、日常会話が楽しめるようになります。

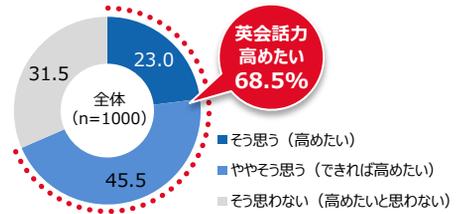
2016年に大ブレイクしたピコ太郎さんの『PPAP』だって、誰でもわかる簡単な英語だったからこそ、中国やインドなど英語が非ネイティブな国を含め世界中で大ヒットしたのです。世界中の人の心を動かせる、中学レベルの英語はあなどれません。

また、『PPAP』に関してはもう一つ発見がありました。日本人の英語の関係者・学習者たちは、ピコ太郎の歌う I have a apple.は間違っている、I have an apple.が正しい！ということ指摘するのです。世界中の人たちが『PPAP』の面白さに注目してる中、文法にこだわってるのは日本人だけ、そしてそれこそが日本人が英語が話せない理由です。他人の英語の正確さをチェックするから、自分もチェックされると思い、話すのが怖くなる、その結果話せなくなるという「しゃべれないマインドセット」が組み込まれているのです！細かいことは気にせず、簡単英語でどんどんコミュニケーションすることが大切です。

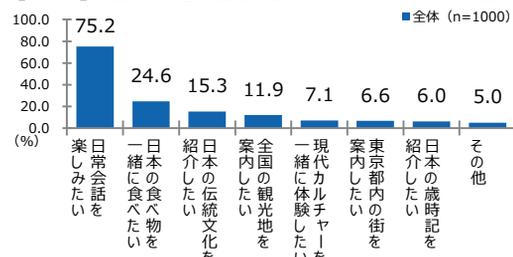
【図12】中学生レベルの英語で外国人とコミュニケーションがとれるとしたら…



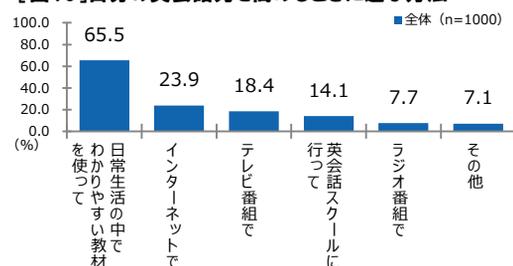
【図13】今後3~4年くらいの間に向けて自分の英会話力を高めたいか



【図14】外国人観光客ととりたいコミュニケーション内容



【図15】自分の英会話力を高めるときに選ぶ方法



純ジャパが日本に来る外国人に案内したいモノやコト

純ジャパが外国人観光客に英語で案内したいのは、

「天ぷら」や「金閣寺・銀閣寺」を抑えて、ジャパカルチャーの「回転寿司」が最高得点に！

英会話力が高まったら、外国人観光客と何げないおしゃべりや食事を楽しみたいと答えていますが、外国人観光客に英語で紹介したい日本の食べ物を聞くと、「天ぷら」（38.7%）、「江戸前寿司」（33.2%）、「お好み焼き」「たこ焼き」（同率31.9%）、「おにぎり」（31.2%）の順となりました【図16】。

また、英語で案内したい観光地は、「金閣寺・銀閣寺（京都府）」（36.5%）、「清水寺（京都府）」（31.6%）、「伊勢神宮（三重県）」（27.1%）、「富士山（静岡県・山梨県）」（26.9%）、「原爆ドーム（広島県）」（26.8%）の順となっています【図17】。一方、英語で紹介したい今の日本文化は、「回転寿司」（47.6%）、「100円ショップ」（36.8%）、「東京スカイツリー」（28.9%）、「銭湯・スーパー銭湯」（26.2%）、「東京タワー」（25.7%）の順となっています【図18】。

【図16】英語で紹介したい日本の食べ物

1位	天ぷら	38.7
2位	江戸前寿司	33.2
3位	お好み焼き	31.9
4位	たこ焼き	31.9
5位	おにぎり	31.2
6位	さしみ	28.7
7位	すき焼き	28.3
8位	おでん	28.2
9位	うどん	26.4
10位	そば	24.4

n=731

【図17】英語で紹介したい日本の観光地

1位	金閣寺・銀閣寺（京都府）	36.5
2位	清水寺（京都府）	31.6
3位	伊勢神宮（三重県）	27.1
4位	富士山（静岡県・山梨県）	26.9
5位	原爆ドーム（広島県）	26.8
6位	鎌倉（神奈川県）	25.6
7位	厳島神社（広島県）	22.6
8位	祇園・河原町（京都府）	22.3
9位	法隆寺（奈良県）	20.4
10位	姫路城（兵庫県）	19.2

n=583

【図18】英語で紹介したい今の日本文化

1位	回転寿司	47.6
2位	100円ショップ	36.8
3位	東京スカイツリー	28.9
4位	銭湯・スーパー銭湯	26.2
5位	東京タワー	25.7
6位	東京オリンピック・パラリンピック	19.0
7位	東京ディズニーランド	17.8
8位	カラオケボックス	16.1
9位	立ち食いそば	16.1
10位	食品サンプル/アメ横/デバ地下	14.8

n=595

上記の英語で紹介したい「食べ物」「観光地」「今の日本文化」について、そのランキングを東京と大阪で比較してみました。

食べ物は、東京人が1位「江戸前寿司」（44.0%）、2位「天ぷら」（42.9%）と順当なのに対し、大阪人は1位「お好み焼き」（47.5%）、2位「たこ焼き」（45.9%）と粉もんが上位を占め、3位に「天ぷら」（37.7%）が来るものの、以下、「おにぎり」（31.1%）、「おでん」（27.9%）と庶民的なメニューが続いています。食いだおれの町・大阪の気取らない側面が垣間見えます【図19】。観光地に関しては、東京人の1位は「鎌倉（神奈川県）」（40.6%）、大阪人の1位は「大阪（USJ/あべのハルカス）（大阪府）」（50.9%）とどちらも地元志向で、わが町の自慢のランドマークを紹介したいと望んでいるようです【図20】。今の日本文化では、東京人も大阪人も「回転寿司」（東京48.5%、大阪51.0%）が1位となり、「回転寿司」の人気の高さがうかがえます【図21】。

【図19】英語で紹介したい日本の食べ物

	東京 (n=84)		大阪 (n=61)	
1位	江戸前寿司	44.0	お好み焼き	47.5
2位	天ぷら	42.9	たこ焼き	45.9
3位	お好み焼き	34.5	天ぷら	37.7
4位	そば	33.3	おにぎり	31.1
5位	すき焼き	28.6	おでん	27.9

【図20】英語で紹介したい日本の観光地

	東京 (n=64)		大阪 (n=53)	
1位	鎌倉（神奈川県）	40.6	大阪（USJ/あべのハルカス）（大阪府）	50.9
2位	原爆ドーム（広島県）	37.5	金閣寺・銀閣寺（京都府）	45.3
3位	金閣寺・銀閣寺（京都府）	37.5	清水寺（京都府）	43.4
4位	箱根（神奈川県）	37.5	伊勢神宮（三重県）	43.4
5位	富士山（静岡県・山梨県）	35.9	祇園・河原町（京都府）	26.4

【図21】英語で紹介したい今の日本文化

	東京 (n=68)		大阪 (n=49)	
1位	回転寿司	48.5	回転寿司	51.0
2位	東京スカイツリー	45.6	100円ショップ	36.7
3位	100円ショップ	38.2	銭湯・スーパー銭湯	28.6
4位	東京タワー	33.8	東京タワー/カラオケボックス/立ち食いそば	16.3
5位	立ち食いそば	29.4		